

## 第8回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和4年7月8日（金）16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

### 議 題

○開会

○議事

1 前回の懇談会での主な意見とまとめ

2 C区間の考え方（案）について

3 意見交換

○閉会

### ■配布資料（案）

資料1：前回の懇談会での主な意見とまとめ

資料2：C区間の考え方（案）

# 前回の懇談会での主な意見とまとめ

## 1 C区間の考え方(案)について

### 西側歩道

- 植樹しない
  - ・ 西側は歩道が狭いので植樹は無理だと思う。仕方がない。
  - ・ 西側については絶対植えるべきとは思わない。車いすや自転車などにとっては低くても邪魔になるのではないか。
- 低木(ツツジやサツキなど)を植える
  - ・ 瀬谷図書館あたりの歩道にツツジが植わっている。低木は植えられないのか。
  - ・ 腰くらいの高さのツツジやサツキなどを植えられないか。
  - ・ 西側の樹種は、観光地になる、見栄えがするものがない。
- その他
  - ・ 保守をきちんと考えてから何を植えるのか計画をたてなければいけない。
  - ・ 西側では植樹しないとすると、西高前のヨウコウだけを例外にしているのか。

### その他

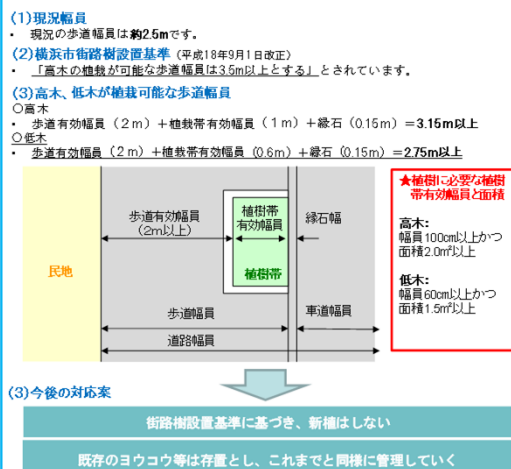
- 樹種の考え方
  - ・ 年に1度の花見だけで桜を見る人と、一年中関わっている人では意見が異なる。
  - ・ 連合町内会の意見をみても、やはり桜に愛着をもっているように思う。
  - ・ 沿道住民の意見を取り入れて樹種を決めてほしい。
  - ・ 見栄えがいい樹種を植えてほしい。
- 環状4号線全体の幅員
  - ・ 歩道と植樹帯との兼ね合いを考えると、植樹帯の幅をあまり狭めない方がいい。
  - ・ 幅員を、同一幅でもっていけるようにしたい。西も東も両側植えられるようにしてほしい。
  - ・ 東側のゆったりとした歩道空間は海軍道路の財産。花博時も非常にいい誘導になる。
  - ・ 緊急車両を考慮して、自転車道を車道にもっていくなど、少しでも車道幅を広くとりたい。
  - ・ 東側の歩道は、人優先の道路であるべき。車が混むのであれば、地下化したらどうか。
- 維持管理
  - ・ 地域住民の意識改革をしないとしっかりとした美化はできない。
  - ・ 一番の問題は資金不足。資金がないと維持管理はなかなか難しい。
- その他
  - ・ 記事などで伐採ということが大きくとりあげられていて、植え替えるということを理解していない人が多い。植え替えるということや、なぜ伐採するのかということを説明した方がいい。

### 東側歩道

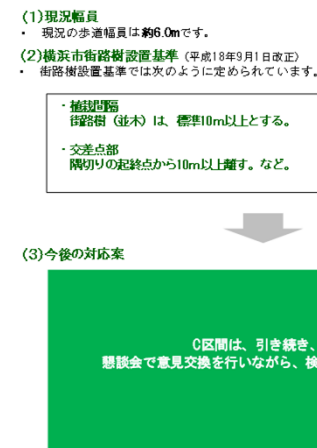
- 低い桜に植え替え、桜並木を再生する
  - ・ 東側は、桜の植樹間隔を充分とるよう留意してほしい。
  - ・ 地元の人の意向が最も重要だと思うが、やはりコシノヒガンがいい。エドヒガンは強く、色が白いいので検討してほしい。
  - ・ AB区間との連続性を考えると、同じ又は近い樹種がいい。
- 桜以外にする
  - ・ 桜など花が散るものは春の嵐の後にすこく滑る。秋は台風で葉が落ち危ない。桜ではないものを希望する。
  - ・ 現状花見をするような桜はないので、なくてもいいのでは。植え替えは必要だと思う。
- その他
  - ・ 住人が協力するとしても、落ち葉や毛虫の消毒については考える必要がある。

### (参考) 第7回懇談会時の提示資料 一部抜粋

#### ○西側歩道



#### ○東側歩道



## 2 記憶の保全事業について

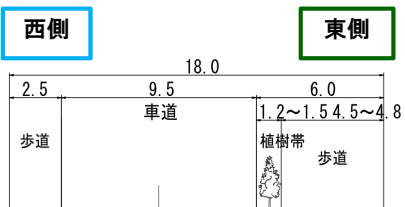
- 瀬谷西高等学校の取組について
  - ・ すばらしい活動である。花に対する活動が非常に盛り上がり、大事にしたい。
  - ・ 地元の参加者がほとんどおらず、西高廃校後どうなるか心配。多少助成金を出して活動するのであれば、期待はあるが、自主的には厳しいと思う。
  - ・ 行政はどのように関わっていくのか。一年草を多年草にすることで少しでも長くもたせるということも一つの提案かと思う。
- 記憶の保全事業について
  - ・ ベンチ、コースター、公園におけるようなもの、遊具、積み木など子供が遊べるようなものがないのではないか。
  - ・ 区内の障がい者の就労施設に、コースターやカッティングボードなどの制作をお願いしてイベント等で販売し、売上を資金や今後の保全費用とすれば、桜をきっかけに区内で循環が生まれる。
  - ・ 伐採木を引き取ってもらい、道路保全の資金にしようか。
  - ・ 木を加工して通行手形に活用した事例もある。配るというだけでなく、施設等で活用できないか。

### (参考) 「桜並木再生等の基本的な考え方(懇談会の意見とりまとめ)」について

- ※「桜並木再生等の基本的な考え方(懇談会の意見とりまとめ)」の内容については、意見なし
- 旧上瀬谷通信施設公園基本計画案について
    - ・ 公園防災ゾーンは、東へ寄せられるほど民家から遠くなる。西側の方が瀬谷北部地区や瀬谷第一地区、本郷地区の住人としてはより近い。行きやすい位置に公園防災ゾーンがほしい。
    - ・ 賑わいゾーンであってもいざという時に使えるということであればいい。
  - 今後の進め方について
    - ・ 要望をいただいている団体には市のスタンスを説明して、納得をいただいているのか。説明しても反対し、相手の意見を取り入れようとする方々にとっては難しいのかと思う。
    - ・ 市民の意見を募集するということが、その内容と市の回答は公表されるのか。そこが大事なところかと思う。

(1) C区間の考え方（案）

○道路の幅員構成



第7回懇談会での主な意見

- ◆ 植樹帯の幅は、狭めない方がいい。
- ◆ 西も東も植栽を両側植えられるようにしてほしい。
- ◆ 東側のゆったりとした歩道空間は海軍道路の財産。花博の時も歩いて行く方にとって非常にいい誘導になる。
- ◆ 自転車の通行空間を歩道から車道にもっていき、歩道を少しでも広くしてほしい。
- ◆ 東側の歩道は、人優先の道路であるべき。車が混むのであれば、車道を地下化したらどうか。

横浜市の考え方

- ◆ 土地区画整理事業区域外（中瀬谷消防出張所～瀬谷中学校前交差点間）については、現時点では、全体的に車道を広げるような大規模な道路再整備を行う予定はありません。

方針案

現時点では、全体的に車道を広げるような大規模な道路再整備を行う予定はありません。

○西側歩道

(1)現況幅員

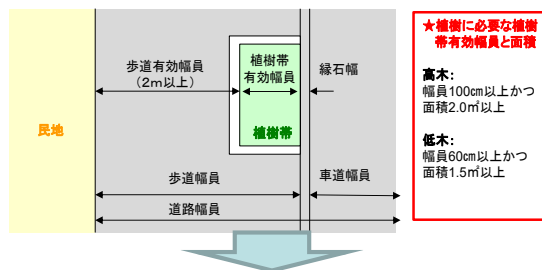
- ・ 現況の歩道幅員は約2.5mです。

(2)横浜市街路樹設置基準（平成18年9月1日改正）

- ・ 「高木の植栽が可能な歩道幅員は3.5m以上とする」とされています。

(3)高木、低木が植栽可能な歩道幅員

- 高木
  - ・ 歩道有効幅員（2m）+植栽帯有効幅員（1m）+縁石（0.15m）=3.15m以上
- 低木
  - ・ 歩道有効幅員（2m）+植栽帯有効幅員（0.6m）+縁石（0.15m）=2.75m以上



第7回懇談会での主な意見

- ◆ 西側は歩道が狭いので植樹は無理。
- ◆ ツツジやサツキなどの低木を植えられないか。
- ◆ 西側で木を植えないとすると、瀬谷西高前のヨウコウだけを例外にしているのか。同一条件とするべき。

横浜市の考え方

- ◆ 街路樹設置基準に基づき、高木の新植は行いませんが、ツツジ・サツキのようなか低木や、地被類の植樹は可能です。
- ◆ 一方で、瀬谷西高の「フラワーロードプロジェクト」の取組みを地域の方が継承する場合は、新たな植栽を行わない方がいいと考えます。
- ◆ 「よこはまの道 バリアフリー整備ガイドライン」では、「歩道の有効幅員は2.0m以上」としていますが、「やむを得ない場合は、車いすが回転やすれ違いできる幅として1.5m以上の幅員を確保する」としています。このため、瀬谷西高前のヨウコウは、住民意向を踏まえ、試験的に植栽した経緯があるため、撤去せず、引き続き、残したいと考えています。

方針案

街路樹設置基準に基づき、高木の植栽は行いませんが、低木、地被類の植栽を検討することは可能です。

既存のヨウコウは存置します。

○東側歩道

(1)現況幅員

- ・ 現況の歩道幅員は約6.0mです。

(2)横浜市街路樹設置基準（平成18年9月1日改正）

- ・ 街路樹設置基準では次のように定められています。

- ・ 植栽間隔  
街路樹（並木）は、標準10m以上とする。
- ・ 交差点部  
隅切りの起終点から10m以上離す。など。

第7回懇談会での主な意見

- ◆ 低い桜に植え替え、桜並木を再生してほしい。
- ◆ 桜の植樹間隔を充分とるよう留意してほしい。
- ◆ 地元の意向が最も重要だと思うが、A B区間との連続性を考えると、コシノヒガンに植え替えるのが良い。
- ◆ ハナミズキは、低木であり、太さもそれほどでなく、お互い邪魔しない。夏の日差しを遮り、冬は日が入り暖かい。
- ◆ 桜は反対。桜などが散るものは春の嵐の後にすくすく滑る。秋は台風で葉が落ち、危ない。

横浜市の考え方

- ◆ ソメイヨシノについては、引き続き、樹木医診断の結果を踏まえ、不健全木については撤去を行います。
- ◆ 東側の歩道では、街路樹設置基準を満たすので高木を植樹することが可能です。
- ◆ 桜について、「花びらや、落ち葉で滑りやすくなる」とのご意見をいただきましたが、桜以外の樹木でも同様の課題は生じると考えます。また、ハナミズキについては、乾燥や暑さに弱いといった、維持管理上課題があるため、最近では新植していません。
- ◆ また、前回の懇談会では、「桜並木として再生してほしい」というご意見を多くいただきました。このため、新しい桜に植え替えながら、桜並木を再生したいと考えています。
- ◆ 樹種については、環状4号線の街路樹の連続性を考えて、コシノヒガン、ヨウコウの2種類を候補としてあげたいと考えています。

方針案

樹高・植栽間隔に留意して桜を植栽（ヨウコウ、コシノヒガンを基本に検討）